

ライブラリーニュース4月号

笠岡商業高校 図書視聴覚課
2011.4.21 発行

新年度がスタートして早いもので1ヶ月が経とうとしています。
新しい学校生活・クラス・部活動…たくさんの新しい出会いがあったことでしょう。
図書館も毎日が出会いの場です。

【格言】友を選ぶが如く、著者を選び。 (ロスコモン『訳詩論』)

いい本との出会いは、いい友達との出会いのようなもの。
皆さん一人ひとりがこの笠商図書館で、1冊でも多くの「友」と出会えますように！！
ひとりでも多く、一回でも多く、図書館へ足を運んでくれることを楽しみにしています！！

授業風景

1年生・
図書館オリエンテーション

4/18 (月)・19 (火) に1年生の図書館オリエンテーションを行いました。

- 図書室の利用の仕方等を説明した後、自由に探検してもらい、好きな本を借りました。
- 学年の約半数が、中学時代ほとんど図書室を利用しなかったようです・・・が、皆さんの本を選ぶ目はとっても真剣でした！！
(そしてとても楽しそうでした^^)

昨日、新着本が更に入りました (裏面参照)。
読書に、調べものに、自習に、暇つぶしに・・・
どんどん気軽に図書室を訪れてくださいね！！



◎ 岡山を舞台にした文学作品◎



『八つ墓村』 横溝 正史 著

戦争中、現在の倉敷市真備町に疎開していた横溝正史は、岡山を舞台にした作品をいくつか書きました。
この作品は、村の名前も真庭の八束村が元になっています。
何度も映画化され、最近では豊川悦司主演で96年に上演されました。

☆ 『獄門島』『本陣殺人事件』も岡山を舞台にした作品です！！

『バッテリー』 あさの あつこ 著

物語は、孤高の天才ピッチャー・原田巧が、山間の小さな町に引っ越してくる場面から始まる。
新天地で待っていたのは、彼の才能を受け止めるキャッチャー・永倉豪との出会い。2人はお互いの力を認め合い、バッテリーを組む決意をするが…
2007年映画化、岡山県の選りすぐられたロケーションでも撮影が行われました。

『ぼっけえ、きょうてえ』 岩井 志麻子 著

第6回日本ホラー小説大賞受賞作。
岡山の遊郭で客を取る女郎が、客に自らの身の上話を聞かせるが、それは世にも恐ろしい話であった。
岡山の方言を駆使し、恐怖感を高めた作品。

♪♪♪新着本案内♪♪♪

☆ 総記

『100 倍の利益を稼ぎ出すビジネス書
「多読」のすすめ レバレッジ・リーディング』 本田 直之

☆ 哲学

『ニーチェ入門』 竹田 青嗣
『「あがり」は味方にできる』 有光 興起

☆ 歴史

『戦国「常識・非常識」大論争!』 鈴木 眞哉
『外様大名 40 家 「負け組」の処世術』 榎本 秋
『中国雑話 中国的思想』 酒見 賢一

☆ 社会科学

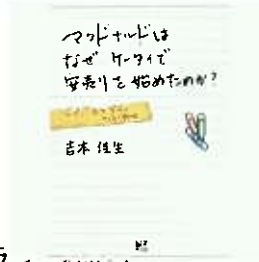
『発見! ヨーロッパが驚く「本当は感情豊かな日本」 デュラン』
『国境線の謎がわかる本』 吉田 一郎
『デフレの正体』 藻谷 浩介
『会社はこれからどうなるのか』 岩井 克人
『現代語訳 論語と算盤』 渋沢 栄一
『カンブリア宮殿』 村上 龍×孫 正義
『マクドナルドはなぜケータイで安売りを始めたのか?』
『通貨で読み解く世界経済』 小林 正宏・中林 伸一
『街場のメディア論』 内田 樹
『FBI 式 人の心を操る技術』 ジャニーン・ドライヴァー
『消費税 25% で世界一幸せなデンマークの暮らし』

☆ 自然科学

『深海のとっても変わった生きもの』 藤原 義弘
『医療格差』 川田 龍平
『アメリカ人はなぜ肥るの?』 猪瀬 聖

☆ 技術・工学

『中国最大の弱点、それは水だ!』 浜田 和幸
『武器なき“環境”戦争』 池上 彰・手嶋 龍一
『エコ論争の真贋』 藤倉 良
『ほんとうのエコカーをつくろう』 中島 徳至



☆ 産業

『究極の田んぼ』 岩澤 信夫
『コンビニがなくなる日』 平野 和之

☆ 技術

『布のちから 江戸から現在へ』 田中 優子

☆ 言語

『漢語日暦』 興膳 宏
『白川静さんと遊ぶ 漢字百熟語』 小山 鉄郎

☆ 文学

『極北からの声』 賀東 昭二
『断章のグリム XIV』 甲田 学人
『デュラララ!! 9』 成田 良悟
『図書室の海』 恩田 陸
『文学少女と恋する挿話集』 野村 美月
『いっぺんさん』 朱川 湊人
『小夜しぐれ』 高田 郁
『零崎曲識の人間人間』 西尾 維新
『人質の朗読会』 小川 洋子
『麒麟の翼』 東野 圭吾
『RDG』 萩原 規子
『完全なる首長竜の日』 乾 緑郎
『機械の仮病』 秋田 禎信
『花の鎖』 湊 かなえ
『人形の檻』 小野 不由美
『YOU!』 五十嵐 貴久
『乙女ノ祈り』 小野 不由美
『苦役列車』 西村 賢太
『秘密のスイーツ』 林 真理子
『シャボン玉同盟』 梨屋 アリエ
『最後の七月』 長蘭 安浩
『よろこびの歌』 宮下 奈都
『祝 もものき事務所』 芽田 砂胡
『タッポーチョ太平洋の奇跡』 ドン・ジョーンズ
『風をつかまえた少年』 ウィリアム・カムクワンバ
『螺旋』 サンチアーゴ・ハハーレス

芥川賞受賞作
です

